



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2021年7月12日

イオン東北株式会社

本年3月に池入れした鮎をいよいよ販売！ 「にぎわい東北 最上あゆ（養殖）」を発売します！ ～鮎の養殖・販売を通して、最上町の振興と発展を応援します～

イオン東北(株) (秋田県秋田市、代表取締役社長：辻 雅信 以下、当社) は、山形県の養殖場「最上あゆセンター」にて本年3月に池入れした鮎を7月16日(金)より東北地区の「イオン」「マックスバリュ」など計123店舗で販売しますので、ご案内申し上げます。



※画像はイメージです

最上町産の鮎のおいしさを東北6県のお客さまに知っていただき、最上町の振興と発展に繋がりたいという思いから、最上町・養殖場「最上あゆセンター」を運営する株式会社大場組（山形県最上郡、代表取締役社長：大場 宏利様）・イオン東北の3者が連携し、本年3月に池入れした稚鮎をこのたび「にぎわい東北 最上あゆ（養殖）」として販売します。

山形県が有する日本三大急流の一つである最上川の支流「小国川」は澄んだ水質であることから、「小国川」で育った天然鮎は、大型で身が締まり、味・形・香りに優れていると言われています。「小国川」で漁獲した天然鮎のつがいから採卵し、孵化させた稚魚を「最上あゆセンター」で約70gになるまで育て、東北6県のお客さまへお届けします。

東北6県での販売に先駆けて7月15日(木)には、「最上あゆセンター」にて鮎の“池上げ式”を実施した後、マックスバリュ最上店にて販売会も行います。最上町長や大場社長にもお越しいたぎますので、ご取材の機会を賜れば幸甚に存じます。

イオン東北は今後とも、東北の一次産業・二次産業を応援する「にぎわい東北」商品の開発・販売を通して、復興から創生へ向かう東北のにぎわい創出の一助となれるよう取り組んでまいります。

【「にぎわい東北 最上あゆ（養殖）」販売概要】

発売日：2021年7月16日(金)

販売価格：「にぎわい東北 最上あゆ（養殖）」1尾(約70g) 本体価格258円(税込価格278.64円)

「にぎわい東北 最上あゆの塩焼き※」1尾 本体価格298円(税込価格321.84円)

※最上あゆの塩焼きは、「魚屋の焼き魚」コーナーがある店舗で取り扱います。

販売店舗：東北地区の「イオン」36店舗「イオンスタイル」8店「マックスバリュ」79店舗

合計123店舗

商品特長：・漁獲～採卵・孵化・飼育まですべて山形県で行った“オール山形”の養殖鮎です。

・味・形・香りの評価が高い鮎から養殖したため、見た目も味も良いのが特徴です。

ご参考

◇「にぎわい東北 最上あゆ」養殖～販売の流れ

- ①最上川の支流「小国川」で天然鮎のつがいを漁獲。
- ②山形県鶴岡市の「栽培センター」で昨年9月頃から採卵し、孵化させる。
- ③約1g（2～3cm）の大きさに成長した稚魚を本年3月に「最上あゆセンター」へ移送し池入れ。
- ④「最上あゆセンター」で約70gまで育った鮎を水揚げし、出荷。



「最上あゆセンター」養殖場の様子

◇「最上あゆセンター」で実施された池入れ式について

本年3月18日（木）に「最上あゆセンター」にて池入れ式を実施しました。池入れ式には、高橋重美 最上町長、大場組 大場 宏利社長にもご出席いただき、約3万尾の鮎の稚魚を池入れしました。



テープカットの様子



稚魚の池入れの様子

◇「にぎわい東北」について



「にぎわい東北 — つなげよう、ふるさとのチカラ」

震災から10年。安心してらせる一日一日の積み重ねが笑顔あふれる未来につながる。

日々のお買い物をはじめ、地域のくらしのあらゆるシーンによりそうことで、地域の皆さまの支えになっていきたい。

「にぎわい東北」フェアをはじめ、生産者支援や雇用創出による地域産業の活性化、自然豊かで災害に強いまちづくりの実現に向けて、イオンはこれからもグループ一体となって、地域の皆さまと手をたずさえながら歩んでまいります。